

うるま市石川地域における自衛隊訓練場整備計画の断念を求める意見書

昨年末に何の前触れもなく表明された防衛省による自衛隊訓練場整備計画は、整備候補地となっている、うるま市石川旭区、東山区の住民をはじめ、うるま市民に大きな衝撃と不安をもたらし、沖縄県内を揺るがす大きな問題となっている。

当該整備候補地周辺は住宅が立ち並び、石川岳など多くの自然豊かな場所となっている。また、多くの児童・生徒が自然体験学習の場として訪れる沖縄県立石川青少年の家などの教育施設もあり、多くの市民、県民から親しまれている地域である。

このような場所に自衛隊訓練場を整備することは、安全面での懸念が極めて高く、地域住民のみならず、多くの市民、県民から深刻な不安の声が上がっている。

その結果、うるま市内全63自治会で構成するうるま市自治会長連絡協議会をはじめ、多くの市民が当該整備計画に反対の意思を示しており、さらに、うるま市長、沖縄県議会、沖縄県知事など、次々と当該整備計画の白紙撤回を求める事態に発展している。

このような状況を踏まえると、当該整備計画に対する十分な理解が得られていないということは明白な事実であり、これ以上、当該整備計画を強行してはならず、市民の理解なくしては進められないことを十分に認識すべきである。

よってうるま市議会は、市民の声を真剣に受け止め、市民の安心・安全な生活環境及び生命・財産を守るため下記事項を強く要請する。

記

- 1 うるま市石川地域における自衛隊訓練場整備計画を白紙に戻し、これを断念すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月19日

沖縄県うるま市議会

あて先

内閣総理大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長